

和木小学校コミュニティスクールだより

緑の風



令和6年・10月号

E-mail wakisyo@sky.icn-tv.ne.jp

<http://www.sky.icn-tv.ne.jp/~wakisho/>

校訓 道を行うに誠実をもってせよ

思いやりの心を育んだ人権教育参観日

校長 河口 龍裕

9月6日に実施しました人権教育参観日（自由参観日）には、多数ご来校くださりありがとうございました。参観授業では、人権に係る授業を参観いただきました。その他、6年生は、修学旅行、5年生は、グリーンスクールの説明会等も実施することができました。加えて午後には、1年生の体育で同日開催の「学校保健安全委員会」の講師から指導を受け、生き生きと運動する姿も見られました。

3、4校時には、全校児童と希望された外部の皆様を対象に「150周年記念 人権教育講演会」をおこないました。広島平和記念公園にある「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんの兄、佐々木雅弘さんを講師にお招きして、「平和を願う心がけとみんなの使命」と題してご講演をいただきました。冒頭に佐々木さんご自身が体験された原子爆弾が爆発した際の大変な衝撃、その後、避難する際に目撃した、人々や市街地の惨状についてお話いただきました。続いて、妹の禎子さんが原爆に遭ってから10年後に白血病を発症し、その病と懸命に闘う様子や、なんとか助けたいと願いながら禎子さんを支えた家族の様子などについて語ってくださいました。お話の後半には、83歳になられた現在も取り組みを続けていらっしゃる平和維持活動等のお話を拝聴いたしました。

佐々木さんの熱く思いのこもったお話から、参加者一同、「思いやりの心」「平和の大切さ」について、そして、私たち個々の使命について考えることができた貴重な時間でした。



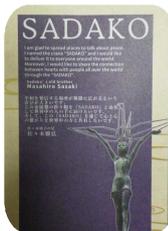
被爆体験や妹の禎子さんの闘病と最後の様子について熱く子どもたちに語りかけられる佐々木さん



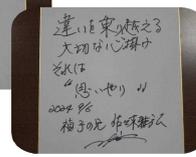
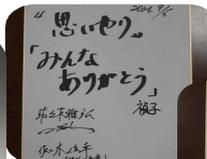
真剣に佐々木さんのお話を聞く子どもたち



講演後、1年生から6年生まで、全ての学年の児童が自主的に挙手して感想を述べることができました。子どもたちの心に響いたことが実感できました。



「折り鶴 SADAKO」



佐々木さんの揮毫



実物の折り鶴

講師の佐々木雅弘様から全国の小学校で初めて、禎子さんが病床で最後に折った「折り鶴」をステンレスで複製した「折り鶴 SADAKO」寄贈していただきました。児童一人ひとりが触れることで佐々木さんのお話や託された思いを振り返りたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様もどうぞ手に取ってご覧いただければ幸いです。ご希望の方は、ご来校の際に事務室にお声掛けください。